

それほど、それぞれの人が持っているその人独自の動物のイメージには強さがあると思うのです。今回の作曲にあたり、動物園に行ったり、その動物の実際の映像を見たりしました。リアルな生感を観察すると、それまで持っていたイメージとギャップがありました。その両者のイメージを行ったり来たりしながら作曲を進めました。ぜひ、弾き手のみなさんも、あなた自身が持っている動物のイメージと、曲から受けるイメージとをミックスさせたり、時に戦わせたりしながら、独自の色の動物を誕生させていくと欲しいと思います。

そして、もうひとつのテーマが「踊り」です。音楽には拍の動きがあります。動物の動きから発想し、亀だつたらゆっくり歩く様子など、リズム作りのきっかけになるような動きを取り入れました。そして、踊りがルーツの二拍子や三拍子、6／8拍子の曲。その踊りは、バロックダンスの時もあるし、最近のロックやテクノ音楽も含まれています。現在では、子供も大人も譜面で見ると難しいシンコペーションで踊って楽しんでいたりしますので、楽譜を通して、この曲集でいろいろなリズムに改めて出会ってほしいと思います。

また、サウンドも普段聴き慣れているモーツァルトなどのクラシックとは異なる現代的な響きも折り混ぜました。また技術が初歩の段階であったとしても、さまざまな不思議な響きに接して欲しいと思っています。曲集としては、バルトークの「ミクロ・コスモス」を意識しながらもさらに、バロックスタイルの西洋音楽の中心の音楽ともって現代的なサウンドを入れたような感じといったところでしょうか。ちょっと欲張っていろいろなスタイルの曲を書いてみました。

先生の「押し」の曲はありますか。

全て「押し」です笑。曲によってこだわった点や思い入れの角度が全く違うので比べられませんね。今回、子供のための曲集は私にとって初めてのプロジェクトでしたので、自分の思っている難易度とこの曲集を手にとった

く多くの方が感じる難易度とが果たしてどれだけ合致しているのかが分からなかったので、数曲づづ書き上げて、書き上がった曲の難易度を比較して、より易しい曲、もう少し難しい曲をそれぞれ書き足したりしながら曲集にしていこう形をとりました。

読者へのメッセージをお願いします。

とにかく、楽しんでほしい。簡単な曲の中にも、きれいに響く音、ぶつかった音、速い音の連続、ゆくりした音の持続、また、右手と左手の会話だったり、さまざまな仕掛けを散りばめたつもりです。ぜひレッスンでピアノの先生とどんなところがおもしろいか話したりしながら楽しみ方を発見していただく。

そして、曲集をやっているうちに知らない間にピアノの技術のさまざまな「ツ」がマスターできるようになることを願っています。曲は導入レベルからだんだん難しくなっていくように並べてみましたが、もちろん順番どおりにやることはありません。好きなところからトライしてほしいと思います。

また、この曲集はソルフェージュ教育の視点から見ると、初見の練習用としても活用できるのではないかと考えています。初見の授業では、生徒さんが次も同じ音なのに鍵盤から二度手が離れて宙を彷徨っているような無駄な動きをしてしまっているのをよく見かけます。この曲集では、ポジションを変えずに弾く部分を多く作ったので、無駄な動きを削ぎ落とす練習になるのではないかと考えています。平易な前半の曲ではテンポキープとフレージングの再確認ができると思いますし、後半は演奏のテクニクが必要な曲にいきなり挑む練習、だいたいブルクミユラー程度相当の初見になるのではないかと思います。



菊倍判/76頁
定価2,310円(税込)/グレード 初～中級

こどものためのピアノ曲集 動物とおどろう!

鷹羽弘晃 作曲

邦人作曲家による「こどものためのピアノ曲集」委嘱シリーズ。作曲家、編曲家、ピアニスト、指揮者、教育者として多方面で活躍中の鷹羽弘晃さんによるこどものためのピアノ曲集。長年ソルフェージュの教育現場に携わった豊かな経験をもとに、「動物」をテーマに様々なスタイルやリズムの小品を作曲。極めて易しい作品から始まり、無理なく取り組める内容となっている。発表会などにもおすすめしたい曲集。全26曲。



収録曲

- | | | |
|----------------|--------------|-----------------|
| 1. のろのろカメさん | 10. ネコのワルツ | 19. トラの行進 |
| 2. カエルたちのおしゃべり | 11. 夢見るヒツジ | 20. 水上のフラミンゴ |
| 3. ヘビ によるによるり | 12. カバのサラバンド | 21. 俺様、ゴリラ様 |
| 4. ゾウの水浴び | 13. 白馬のジーク | 22. フクロウ、ホッホー |
| 5. プレーリードッグの兄弟 | 14. クマ 冬の巣穴で | 23. クジャクのおもてなし |
| 6. ロバは山道を行く | 15. ライオンは王様だ | 24. アルマジロのカリブソ |
| 7. ラクダ 砂漠の旅 | 16. リスのプーレ | 25. オランウータン 森の人 |
| 8. キツネにつままれる | 17. シマウマの白黒 | 26. カピバラのラテンダンス |
| 9. ニワトリのガヴォット | 18. ペンギンの運動会 | |

さらにスキルアップをめざすピアノレスナーにおくる応援レター

PageUp

Volume 67 Autumn

“ピーアアップ”

P-Up

PianoUp

カワイ出版

カワイ出版 〒161-0034 東京都新宿区上落合2-13-3 Tel.03-3227-6286/Fax.03-3227-6296/ <https://www.editionkawai.jp>

Special Talk!

鷹羽 弘晃

Hiroaki Takaha

作曲家・編曲家・ピアニスト・指揮者・教育者

2001年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。パリ・エコール・ノルマル作曲科にてDiplôme Supérieur取得。作品に、女声合唱とピアノのための「立原道造の詩による四つの心象」、マンドリンとピアノのための「水上の月」、弦楽のための「パターン・カット」、2つの楽器のための「ガンマ・コレクション」などがある。また、NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲（「手紙」「Yell」）など合唱アレンジや、「絶対弾きたい!やさしいピアノ曲集」(カワイ出版)などのピアノアレンジなど、編曲も多い。

ピアノ演奏で1999年第9回日本室内楽コンクール第1位（ヴィオラ奏者との共演）。2015年にはコンサートシリーズMULTUS#3の4台ピアノ曲の演奏ツアーに参加するなど現代音楽での活動や、室内楽や合唱団との共演も多い。

その他に、現代音楽を中心に指揮活動も行っている。指揮をつとめた和楽器と古楽器による「アンサンブル室町」の公演が2013年度の佐治敬三賞を受賞した。

現在、母校や附属の音楽教室などでソルフェージュを中心に音楽教育に携わる他、NHK-FM「ビバ!合唱」のナビゲーターなど活動は多方面にわたる。作曲ではソルフェージュ教育現場から着想される独自の音楽を探索している。

—— 作曲家、編曲家、ピアニスト、指揮者、教育者等、多方面で活躍中の鷹羽弘晃さん。新刊「こどものためのピアノ曲集 動物とおどろう」について、この曲集がどのようなコンセプトで書かれたか等々、お話しいただきました。

「動物とおどろう」について

長年、桐朋学園などでソルフェージュの教育に携わってきました。メインは大学・高校なのですが、附属の子供のための音楽教室では未就学児のソルフェージュの授業に接することがあります。ピアノを演奏するには手が十分に成長していない年齢の子供たちに対して、聴くことから音のおもしろさを発見し、音楽の律動を体の動きから体感するところからスタートしていく訳なのですが、そのように学んだ、初歩的なリズムやシンフルな音の動きを、そのままピアノの鍵盤に取り入れていくことができないかと思って作曲した曲がこの曲集の初めに並んでいます。本来、ソルフェージュというのは耳や楽譜を読むための力を育てるだけでなく最終的には音楽表現につながっていくものですので、その繋がりを、早期から感じてもらえるような音楽の要素を取り入れて作曲しました。

また、ペダルを使わなくても演奏できることをコンセプトにしています。ペダルに足が届かない子供にも手軽にチャレンジして欲しいという思いからですが、その他に、「打鍵したままで指で押さえてのばしている音」と「のばしていない音」、その音の違いに意識が向くような曲を作りました。「指で音を繋げて弾く」という感覚をペダルを扱う前に知って欲しいと思います。

「動物」をテーマに選んだ理由は、娘が動物が大好きだというのがきっかけです。これまでも多くの作曲家が動物の曲を書いてきましたが、同じ動物でも、違う人が作曲すれば全く違う動物の曲になります。

次ページへ続く

出版情報 & ショッピング

カワイ出版ONLINE <https://www.editionkawai.jp>

カワイ出版ONLINEはカワイ出版全商品の情報を掲載したサイトです。商品詳細は多くの商品で立ち読みできたり、一部試聴用音源も用意しています。ご購入頂くことも可能ですし、キャンペーン、会員だけのお得な情報もありますので、ぜひご利用ください。



新刊はもちろん、さらに親しみやすい投稿も！フォローしてね！

お客様との交流を目的に色々な情報を提供しています。是非「いいね」を押して下さいね。



▲携帯サイトはこちら